



～チャイルドの経営コンサルタント監修による～

# 選ばれる園になるためのメルマガ

株式会社 幼保経営サービス・コンサルティング部



## タイ・バンコクの日本人幼稚園の運営とコロナ禍

(株)幼保経営サービス コンサルティング部では、法人・園の経営・運営の悩み事に対応しています。チャイルドグループの各事業部のノウハウを Q&A 形式でお届けします。

**Q** タイ・バンコクの日本人幼稚園ってどんなところなの？

在園児が、お父様の海外赴任を理由に5年程タイ・バンコクに住むことになり、そちらでは日本人幼稚園に途中入園することが決まったみたいです。

タイ・バンコクの日本人幼稚園とはどのようなところなのでしょう。また、コロナ禍での取り組みなど、日本国内との共通点や違いがあれば教えてください。

**A** タイ・バンコクの日本人が多く住むエリアには、約15園ほどの日本人幼稚園があります。

タイには5,800社以上の日系企業が進出しており、現在、8万人以上の日本人がタイに住んでいます。また、バンコクには生徒数約2,700人の世界最大の日本人学校があります。その中で、バンコク市内の日本人が多く住むエリアでは約15園の幼稚園がそれぞれの特徴を生かして運営しており、例えば、日本語・英語・タイ語の三か国語を万遍なく学ぶことが出来る園や、日本人だけが在園する日本人部と海外の園児も受け入れるインター部を併設している園などがあります。

各園を訪問する中で聞いた話によると、コロナ禍では、帰国指示が出る企業が多く、幼稚園の運営は非常に厳しかったそうです。

現在は、少しずつではあるものの園児数も戻りつつありますが、園舎が新しくなったところや、教育方針や教育環境が整っているところ、また、課外授業やサマーキャンプを積極的に取り入れ保護者の方にとって『長く預かってくれる園』が園児数の回復が早い印象です。

コロナ禍での取り組みは、基本的に日本と同じ部分が多く、幼児クラスのマスク着用、抗原検査の実施など、今年に入ってから継続されているところが多いです。



### 事業部紹介

株式会社チャイルド社 総務部 海外事業チーム

バンコクの日本人幼稚園向けに絵本や紙芝居、おはようブックなどの新年度用品、また保護者向けの講演会・園職員向けのセミナーなどを行っております。売れ筋商品は『折り紙・千代紙』で、現地で仕入れると正方形でないことが多く、非常に人気があります。また近年は、コロナ禍やPM2.5の影響で、『とび箱』や『プラフォーミング』など、室内で使用する運動用品の依頼も多くなっています。



株式会社 幼保経営サービス

コンサルティング部 ディレクター 東京弁護士会所属 柴田 洋平 (弁護士・保育士)

TEL 03-6915-1910 Email yohokeiei\_consulting@child.co.jp

HP <https://www.ans.co.jp/youho/consult.html>

